［様式９－１］

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	わかば保育園	施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

平成２９年　1月２７日

総　　評	わかば保育園は、昭和５１年に開設し、１１０名定員の保育園です。福知山市街地の東側に位置し、周囲は広々とした田畑や川があり、自然豊かな環境です。 法人の理念「共生」を掲げ、地域や隣接する老人施設とのふれあいから様々な経験や交流を通じて人と人との関わりの楽しさや大切さを感じる心を大事にされています。夕涼み会では地域の方々や歴代卒園生も招待し交流を続けられています。 「ともに生きる自然がお手本」をモットーに（1）自然や地域社会との豊かな経験を通して生きる力と人間性を養う。（2）良く遊び伸びやかな心と身体を育む。（3）思いやりと感謝の心を持てる子ども。（4）元気にあいさつや返事ができる子どもを保育目標に掲げ、家庭と連携をしながら愛情を十分に享受できる環境の中で保育することにより、伸びやかにたくましく、そして心優しい健やかな子どもを育む保育を実践しています。 平成２５年９月に罹災した、台風による大雨被害の教訓から、水難災害に対しては、福知山市の防災対策に基づいて、詳細なマニュアルが入園のしおりに載っています。避難準備の言葉の意味や、注意報、警報の発生レベルなど、緊急発生時の園の考え方や、保護者がどうしたら良いのかが示されています。 福知山市内で唯一の休日保育事業を実施し、園だけでなく地域の方々のニーズにも応えられています。また、子どもに対する保育内容を充実させつつ、地域の子育て支援の拠点として、地域に根ざした保育がなされています。
特に良かった点（※）	・毎日当番活動で、子ども達がお米を洗い主食を準備しています。農園活動でとれた、エンドウ豆や夏野菜を献立に取り入れて試食会などもおこない食育に取り組んでいます。「おせちバイキングディ」など、日本の行事食を提供しています。平成２６年５月に「栄養士が考える体に優しい健康レシピ1」を法人栄養士会がまとめ、発行しています。カラー版で、食材の栄養や主菜、副菜、おやつまで様々掲載され、見やすくなっています。 ・利用者の状況等に関する情報を職員間で共有する仕組みとして、毎日の「朝礼」、月に一度の「乳児会議」「幼児会議」「全体会議」「企画会議」「給食会議」を活用し、個々の子どもの健康や発達の状況など事例について情報交換を行っています。 ・人材育成計画書を作成し、法人とともに人事考課を取り入れた人事管理を行っています。
特に改善が望まれる点（※）	・遵守すべき法令については、職員会議等で周知されていますが、法令等のリスト化や、その会議内容について記録があるとなお良いでしょう。 ・研修について、全体の中で調整を図りつつ各職員の希望する研修に参加させて、その結果は園内研修で報告されて共有化が図られています。なお、職員の経歴等を勘案して、今後、求められる能力の向上に向けた研修を受けさせて計画的に人材育成を図っていく観点から、職員一人ひとりについての教育・研修計画を立てることが望まれます。

※それぞれ内容を３点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

福祉サービス等第三者評価事業
［様式９－２］

［保育所版］
評価結果対比シート

受診施設名	わかば保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成29年1月27日

保育所評価基準　対比シート

Ⅰ　福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果 自己評価	評価結果 第三者評価
Ⅰ－１ 保育の理念・基本方針・目標	Ⅰ－１－（１） 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	①	保育の理念が明文化されている。	A	A
		②	保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	Ⅰ－１－（２） 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	①	保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		②	保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
Ⅰ－２ 計画の策定	Ⅰ－２－（１） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	①	中・長期計画が策定されている。（非該当）	非該当	非該当
	Ⅰ－２－（２） 保育の計画が適切に策定されている。	①	保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		②	保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④	保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤	保育課程・指導計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
Ⅰ－３ 管理者の責任とリーダーシップ	Ⅰ－３－（１） 管理者の責任が明確にされている。	①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	B
	Ⅰ－３－（２） 管理者のリーダーシップが発揮されている。	①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・法人理念・保育理念・保育方針・保育目標は園のパンフレットや入園のしおりに明文化され、ホームページにも掲載されています。職員には職員会議で保護者には入園説明会・入園式などで周知を図っています。

・保育課程は保育理念、方針、目標に基づき、一人ひとりの子どもの家庭の状況や地域の実態、保護者の意向などを考慮して編成されています。

・管理者としての自らの役割と責任を職員に明確にされ、保育サービスの質の高さを職員と共に目指し取り組まれています。

・管理者は、施設長会議を行い組織的に取り組みリーダーシップを発揮しています。遵守すべき法令について職員会議等で周知されていますが、その内容についての記録があるとなお良いでしょう。

Ⅱ　組織の運営管理

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果 自己評価	評価結果 第三者評価
Ⅱ－１ 経営状況の把握	Ⅱ－１－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。	①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
Ⅱ－２ 人材の確保・養成	Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。	①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
	Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。	①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
	Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	B
		③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	Ⅱ－２－（４） 実習生の受け入れが適切に行われている。	①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
		②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A
Ⅱ－３ 地域との交流と連携	Ⅱ－３－（１） 地域との関係が適切に確保されている。	①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		②	事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	Ⅱ－３－（２） 関係機関との連携が確保されている。	①	必要な社会資源を明確にしている。	A	A

[自由記述欄]

・人材育成計画書を作成し、法人とともに人事考課を取り入れた人事管理を行っています。

・「保育所職員行動規範２０ヵ条」で職員のあるべき姿が明示してあります。法人での研修の計画が明示され、職員の技術・質の向上に努めています。個別の職員に対して研修計画を策定されるとなお良いでしょう。

・研修報告の場が設けられ、目標管理シートの中で、成果の評価・分析を行っています。

・保育実習受け入マニュアルを整備し、実習生の育成に積極的に取り組んでいます。

・毎週火曜日に園庭開放を行い、地域の方に施設の提供を行っています。また夕涼み会などの行事にも地域の方々に参加を呼びかけています。

、

Ⅲ　適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果 自己評価	評価結果 第三者評価
Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	①	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ－１－（２） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	①	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		②	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ－２ サービスの質の確保	Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	①	定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		②	定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ－２－（２） サービス実施の記録が適切に行われている。	①	入園面接･健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ－３ サービスの開始・継続	Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。	①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		②	保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	①	転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	B

[自由記述欄]

・苦情解決に向けた仕組みについて、『苦情解決システム』を保護者への説明と園内掲示を行うと共に、保護者が自由に投書できる『ご意見ボックス』を設置しています。日常的な保護者とのコミュニケーションを重視しながら些細なケースも記録に残して職員間で情報を共有しています。また、苦情があった際には、園だよりや園内掲示を用いて内容や対策について保護者へフィードバックを行っています。

・利用者の状況等に関する情報を職員間で共有する仕組みとして、毎日の「朝礼」、月に一度の「乳児会議」「幼児会議」「全体会議」「企画会議」「給食会議」を活用し、個々の子どもの健康や発達の状況など事例について情報交換を行っています。

・２００８年、２０１２年と今回で３回目の第三者評価受診となります。質の向上に向けた取り組みとして、前回の課題であった、保育課程の編成とマニュアルの周知について、全職員で見直しを行うことで改善しています。

・サービスの継続性に配慮した対応として、小学１～６年生を対象とした『卒園児の会』を開催し、卒園後も園とのつながりが持てる機会をつくっています。転園・卒園後の相談方法や窓口について、保護者に対して文書での説明を行うとなお良いでしょう。

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果 自己評価	評価結果 第三者評価
Ⅳ－１ 子どもの発達援助	Ⅳ－１－（１）健康管理・食事	①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤	食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	Ⅳ－１－（２）保育環境	①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		②	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	Ⅳ－１－（３）保育内容	①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④	身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

・年２回の内科健診、年1回の歯科健診結果は全職員に周知しており、パソコン内(園児健康管理表）にデータ保存しています。健診結果は、連絡帳で保護者に伝えています。

・感染症の発生状況は、玄関のホワイトボードに記入し、毎日の送迎時に保護者へ情報提供しています。健康管理や医療に関する情報は、園医や法人の看護師会と連携をして情報収集しています。

・乳児クラスでは手づかみから、自分で食べるという姿が見られます。子ども一人ひとりの「食べる意欲」を尊重して保育をしています。

・毎日当番活動で、子ども達がお米を洗い主食を準備しています。担当保育士が見守る中、当番の子どもは、慣れた手つきで米洗い活動をしています。農園活動でとれた、エンドウ豆や夏野菜を献立に取り入れて試食会などもおこない食育に取り組んでいます。１月は「おせちバイキングデイ」があり、日本の行事食を提供しています。平成２６年５月に「栄養士が考える体に優しい健康レシピ1」を法人栄養士会がまとめ、発行しています。カラー版で、食材の栄養や主菜、副菜、おやつまで様々掲載され、見やすくなっています。

・年長児は、保育室での遊びが発展して、郵便屋さんごっこなどの遊びがホールで展開されています。遊びを通じて、文字や仕事の役割・意味に興味関心を高めている姿が見られます。

・２歳児クラスでは、市販お菓子のパッケージや空袋を利用し、お店屋さんごっこの環境があり、子どもと保育士が会話を交わしながら遊んでいます。子どもがシール貼り、色塗りをした豆まき用の箱（牛乳パック利用作品）が人数分保育室に飾られ、行事への興味付けがされています。玄関ホールには保育士手作りの大型汽車が飾られ、カラフルに構成されています。

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅳ－２ 子育て支援	Ⅳ－２－（１） 入所児童の保護者の育児支援	①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥	子どもの発達記録やケアー記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	Ⅳ－２－（２）一時保育	①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

［自由記述欄］

・毎年６月には、全園児の保護者を対象に個人面談を行っています。懇談内容はパソコン内に情報を整理し保存しています。11月には、保護者の保育参加の機会を設け、保育内容の理解や、試食会を通して食育の推進に繋がるよう実践しています。

・一時保育、休日保育を行っています。一時保育は、同年齢での保育を行っています。また、福知山市内の休日保育実施園として保育サービスを実践しています。

Ⅳ－３　安全・事故防止

評価分類	評価項目		評　価　細　目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅳ－３ 安全・事故防止	（１）安全・事故防止	①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		②	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

［自由記述欄］

・台風による大雨被害の教訓から、水難災害に対しては、福知山市の防災対策に基づいて、詳細なマニュアルが入園のしおりに載っています。避難準備の言葉の意味や、注意報、警報の発生レベルなど、緊急発生時の園の考え方や、保護者の対応が示されています。

・ヒヤリハットを作成し、事故から未然に防げた事まで細かく記録してあり、再発防止に努めています。